

令和6年度 犬山城関連主要事業の進捗について

1. 犬山城の保存活用に関する事業

(1) 史跡犬山城跡整備基本計画策定

○史跡指定地である城山、三光寺山に加えて、追加指定候補地である犬山市福社会館跡地を含む史跡全体を対象とした整備基本計画を策定する。

策定期間：令和4～6年度

策定体制：犬山城調査整備委員会

委 託 先：株式会社文化財保存計画協会

委託期間：令和6年5月8日～令和7年3月25日

《令和6年度協議内容》

①整備基本計画

- ・全体計画及びゾーニング計画
- ・個別計画（遺構保存・環境保全、建造物・遺構復元・表示、施設整備、防災、活用 他）
- ・事業計画（実施計画、整備計画図、年次計画）

②基本計画書の編集・とりまとめ

(2) 石垣調査の実施・・・【資料2】

【石垣調査】

○史跡犬山城跡の石垣の三次元測量等を行い、現状を調査して石垣カルテを作成し、保存・修理のための基礎資料とする。

実施個所：本丸西側・南側、櫓の丸東側、桐の丸西側、内堀

委 託 先：(株)アコード名古屋営業所

調査期間：令和6年6月11日～令和7年3月25日

【石垣年代調査】

○犬山城に残る石垣を他城の石垣と比較することで、その特徴を明らかにするとともに、文献資料、絵図等と照合することにより、石垣の構築年代、修理年代を推定する。

実施個所：本丸、櫓の丸、杉ノ丸

委 託 先：名古屋工業大学濱田晋一准教授（受託研究）

調査期間：令和6年4月25日～令和6年7月31日

(3) 石垣保護工事・・・【資料3】

○七曲付近、弓矢櫓付近の落石発生箇所について、令和5年度に作成した実施設計に基づき、砕石土嚢により崩落箇所を保護する応急修理工事を実施した。

請負業者：株式会社石田建設

施工期間：令和6年8月29日～令和6年11月29日

(4) 犬山城城郭内樹木剪定伐採・・・【資料4】

○国宝犬山城天守・史跡犬山城跡 保存活用計画に基づき、遺構、眺望、来訪者、植生、景観に影響

がある樹木を対象に、伐採、剪定等を実施。

【樹木剪定】

委託期間：令和 6 年 7 月 10 日～令和 6 年 11 月 30 日

委託業者：有限会社芳葉園土木

本丸内東側電線支障木剪定 2 本、本丸内高木（夫婦楠西側含む）剪定 4 本

【樹木伐採】

委託期間：令和 7 年 1 月 15 日～令和 7 年 3 月 25 日

委託業者：有限会社芳葉園土木

杉の丸東側 19 本伐採

(5) 犬山城防災対策計画策定

○国宝犬山城天守の火災予防から早期発見・通報、避難誘導・初期消火、消防隊による消火活動までの総合的な検討を行い、それを実現するための手法を定めた「犬山城防災対策計画」を策定することにより、防災設備改修などのハード、警備・運営などのソフトの両面からの防災対策強化を計画的に進める。合わせて、天守の地震及び風水害対策や、石垣を中心とした史跡犬山城跡の防災も計画に位置付け、来訪者の安全確保、史跡の恒久的保存に万全を期す。

当初計画では、令和 6 年度中の計画策定完了を予定していたが、防災設備の仕様等について更なる検討が必要となったため、策定期間を令和 7 年度まで延長することとなった。

内 容：防災対策の現状と課題の整理、防災対策基本計画、防災設備改善計画等

策定期間：令和 5～7 年度

策定体制：犬山城防災対策検討委員会

《令和 6 年度協議内容》

①犬山城天守の防災対策方法の検討

- ・火災発生要因（落雷・電気・延焼・放火）ごとの防災対策の整理・検討
- ・火災発生時の警備員の初期消火・避難誘導活動の動きの検証

②史跡犬山城跡の防災対策の現状と課題の整理

(6) 「近世城郭の天守群」の取り組み

○令和 6 年度の主な事業は以下のとおり

- ・国宝五城同日での天守合同床磨きを初開催（令和 6 年 8 月 17 日）
- ・市民レベルの交流の場として「3 市市民交流会」を松本市で開催し、白川郷の世界遺産登録及び登録後の活動に携わる方から先進事例を学んだ（令和 6 年 10 月 7・8 日）
- ・3 市長と専門家（西村幸夫國學院大學教授）の意見交換会をオンラインで開催（令和 7 年 2 月 7 日）
- ・3 県 3 市担当者による文化庁協議（令和 7 年 3 月 7 日）

(7) 令和 6 年度歴史まちづくりセミナー「世界文化遺産の思想と潮流」

「近世城郭の天守群」の世界遺産登録に向けた取り組みとして、國學院大學教授の西村幸夫氏を招き、世界文化遺産に関する講演会を開催した。

日 時：令和 7 年 2 月 16 日(日) 午後 2 時 00 分～3 時 30 分
場 所：犬山市民交流センターフロイデ 4 階 フロイデホール
講 師：西村幸夫氏（國學院大學教授）
参 加 者：約 110 名

(8) 犬山城みらいサポーターの取り組み

○未来を担う子どもたちが主役となり、犬山城に愛着を持ち、市民の力で美しく後世に引き継ぐため、令和 5 年度から開始した「犬山城みらいサポーター」の取り組みを引き続き行った。

第 1 回 令和 6 年度 国宝五城天守合同床磨き

令和 6 年 8 月 17 日 参加者 25 名

第 2 回 犬山城天守を学ぼう

令和 6 年 12 月 21 日 参加者 16 名

(9) 市制 70 周年記念事業 歴史文化施設一斉無料開放

○犬山市政施行 70 周年の記念事業が行われる二日間、文化史料館、どんでん館とともに犬山城を無料開放した。

- ・日 時：令和 6 年 5 月 18 日（土）、19 日（日）
- ・無料開放：午前 9 時～午後 5 時（最終入場午後 4 時 30 分）
- ・入場者数：5 月 18 日＝4,091 人 5 月 19 日＝3,432 人

2. 犬山城の管理に関する事業

(1) 主な維持・修繕

○登閣道側溝の修繕を実施

（令和 6 年 6 月 24 日、令和 7 年 1 月 29 日）

○犬山城券売所看板等の修繕を実施

（令和 6 年 9 月 25 日）

○犬山城投光器の修繕を実施

（令和 7 年 2 月 12 日）

○赤外線センサー（西側）の取替修繕を実施

（令和 6 年 12 月 16 日）

○空堀、城山西斜面周辺の草刈りを 7 月及び 10 月に実施

(2) 入場方法等の見直し（オンラインチケット、入場者数上限設定、料金改定等）

○繁忙期の混雑緩和のための対策として、

- ①予約システムの導入を含むチケットの販売方法、料金徴収方法、入場方法の見直し
- ②定員制、時間帯チケットの販売による入場者数の抑制
- ③整備基本計画に基づく事業の着実な実施と経営の安定化継続のための入場登閣料の改定等について、事前調査及び検討を行った。

(3) 犬山城の消防訓練及び無料開放の実施・防災対策強化

○貴重な文化財保護の大切さを周知するため、1 月 26 日の文化財防火デーに合わせ消防訓練及び無

料開放を実施

- ・ 日 時：令和 7 年 1 月 21 日（火）午前 10 時～午前 11 時 30 分
- ・ 参 加 者：54 名（犬山城 32 名 消防本部・署・消防団 18 名 歴史まちづくり課 4 名）
- ・ 無料開放：午前 9 時～午後 5 時（最終入場午後 4 時 30 分）
- ・ 入場者数：1,361 人

●総合訓練

- ・ 内 容：文化財の防災意識を高めるとともに火災発生時の初動対応を円滑に行えるよう、犬山城職員、消防本部・消防署との合同消防訓練を実施。
- ・ 想 定：午前 10 時頃、不審者の放火により天守 2 階南西付近から出火し、多くの来城者がいる。

●図上訓練

- ・ 消防職員の指導により「火災対応図上訓練」を実施した。
売店内の自動販売機の漏電により火災が発生したと想定。消防署職員の指導の下、管理事務所、城内職員、券売所職員、売店職員がどのように動くべきか、図上で対応を検討した。

○令和 6 年度 犬山城消防設備操作訓練

- ・ 新年度になり夜間警備業者も変わったため、発災時に有効な初期対応ができるよう、夜間火災発生時の対応マニュアルに基づき、犬山城の消防設備の操作方法の説明および、実施訓練を行った。
- ・ 日時：第 1 回令和 6 年 5 月 21 日 17:30～19:30
第 2 回令和 6 年 5 月 30 日 17:30～18:45
- ・ 参加者：7 名（犬山城 2 名 夜間警備員 5 名）

○夜間初動対応訓練（火災を想定）

- ・ 夜間における火災発生に迅速的確に初期対応を行えるよう、夜間警備員を対象に初動対応訓練を実施。
- ・ 日時：第 1 回 9 月 5 日（木）～ 9 月 6 日（金）
23 時～2 時（26 時）
第 2 回 9 月 9 日（月）～ 9 月 10 日（火）
22 時 30 分～24 時 30 分
- ・ 参 加 者：6 名（犬山城 1 名 夜間警備員 5 名）1 名関係警備員より監督員として参加